

◎TQM大会開催

6月14日(水)、福祉センター2階においてTQM大会を開催しました。TQMとは、TOTAL QUALITY MANAGEMENTの略で、「全員や全体で質を向上させること(活動)」です。当院では、担当の部署が1年に1度の活動発表をする機会として大会を開催しており、今年は診療放射線科、診療情報管理室、腎センター、6病棟、南3階病棟でした。それぞれ、コスト削減や業務効率の改善など様々な視点からの取組でしたが、腎センターは透析施行中に災害が発生した場合の避難通路の確保や身体機能に合わせた避難者トリアージ(重症度による治療の優先決定)の方法、緊急離脱の手技等の「災害対策」についての内容でした。実際に、大牟田市でも平成27年には寒波で断水が続き災を身近に感じた経験もあり、参加者の関心もひとときわ高いものでした。(TQM推進委員会 西 康成)



◎学会発表・講演など

職員の対外的な活動である学会発表や講演を紹介しています。今回は、リハビリテーション科の島袋公史(認定理学療法士「補装具」)が、平成29年7月10日に福岡県理学療法士協会主催の研修会にて、「理学療法と補装具-脳卒中下肢装具を中心に」と題して講演を行いました。生活関連領域の補装具関連として脳卒中に使用する下肢装具の種類やガイドライン、当院での取り組み・症例の提示中心の講義となりました。参加者の方からも多くの質問を頂き、私としても次に繋がる研修会となりました。



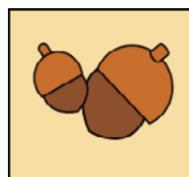
◎栄養管理室コーナー「旬の食材 梨」

秋になるといろいろな果物が旬を迎え豊かに出そろいますが、季節感がある代表的な果物のひとつである梨をご紹介します。日本の梨には「赤梨」と「青梨」があり、赤梨は「豊水」や「幸水」など果皮が茶色いもので、青梨は「二十世紀」のような果皮が緑色の梨です。どちらもシャリシャリとした独特の食感が特徴的で、赤梨の方は成熟すると果皮にザラザラの斑点が目立ちますが、これは水分を果実に閉じ込めておくためのコルクの役割をしているそうです。栄養としては水分と食物繊維が比較的多く、便をやわらかくする糖アルコールの一種「ソルビトール」を含んでいるので便秘予防に効果があり、カリウムは高血圧予防に効果があり、梨に含まれるアミノ酸の一種「アスパラギン酸」は利尿作用もあるようです。病院食でもこの時期になると秋の果物である梨をはじめ柿やぶどうが登場します。暑かった夏のデザートがアイスクリームだった方もこれからは秋の果物へ切り替えてみてはいかがでしょうか。(栄養管理室 大城美絵)



編集 後記

「暑い、暑い」と言っているうちにもう10月になりました。今年の夏は、豪雨災害に続き猛暑も厳しく大変な事が多くありました。これからは、いよいよ秋本番!! 疲れた体を休め、読書の秋を満喫するもよし、気持ちいい汗をかいてスポーツの秋を満喫するもよし...ですね。私のおススメは、オリンピック種目にもなったボルダリングです。「素手で岩壁を登る競技」なのですが、自然の岩壁ではなく専用の人工競技場もあるため、今とても注目されているスポーツで老若男女問わず気軽にトライできます。(ペンネーム one-eye)



□交通アクセス

- JR鹿児島本線大牟田駅下車... 徒歩20分
- 西鉄天神大牟田線大牟田駅下車... 徒歩20分
- 九州自動車道南関ICより自動車... 25分
- 西鉄バス大牟田駅前バス停乗車
- 天領校前下車(行先番号2番)... 下車徒歩3分
- 天領町1丁目下車(行先番号4番)... 下車徒歩0分



□診療 受付時間

月曜～金曜日 / 8:30～11:30 (診療開始 8:45～)
 午後の診療時間についてはお問い合わせ下さい
 土曜日 / 8:30～11:00 (診療開始 8:45～)

□休診日

日曜日、祝祭日、年末年始(12/30～1/3)

□面会時間

平日・土日祝祭日 11時～20時まで



当院に対してご希望やご意見がございましたら職員にお気軽にお申し付けください。また、ご意見箱も是非ご利用ください。

一般社団法人 福岡県社会保険医療協会
社会保険 大牟田天領病院

〒836-8566 福岡県大牟田市天領町1丁目100番地
 TEL 0944-54-8482 FAX 0944-52-2351
 電子メール: somu@omutatenryo-hp.jp ホームページ: http://omutatenryo-hp.jp/

天領医療連携だより

Ohmuta Tenryo Hospital 2017.9



■ 本院の目標

- 一、本院の五つの理念の確実な実践
- 二、患者様の尊厳の厳守
- 三、地域と一体になった医療システムの確立

■ 医療理念

- 一、患者中心の医療
- 二、医療の質の向上
- 三、地域社会にあった手づくりの医療
- 四、安心と信頼を持たれる病院づくり
- 五、経営の安定と職員満足度の向上



◎最新耳よりトピック

「喘息、咳、呼吸が苦しい」(病院長 興梧博次) Topics

本年4月から、院長として就任した興梧博次です。熊本大学の呼吸器内科教授を定年退職して大牟田天領病院にて診療を始めました。よろしくお祈りします。専門は、呼吸器疾患、喘息、慢性閉塞性肺疾患(COPD:たばこによる肺障害)、肺癌、肺炎、間質性肺炎、集中治療等で、幅広く診療をしています。今回は、ポピュラーな疾患である喘息や咳、COPDについて新しい医療情報を紹介致します。

喘息は、外気の刺激により気管支(呼吸において空気の通る管)が細くなり空気の通りがわるくなるために呼吸が苦しくなる疾患です。原因は、アレルギーによるもので家のゴミ(ハウスダスト:家ダニの成分)、ペットの毛、カビ等がありますし、原因がわからない喘息もあります。喘息は、気管支に炎症がおこっており、吸入ステロイド薬あるいは気管支拡張薬を合わせて上手に吸入しますと大幅に改善します。そのため、気管支表面に薬を効率よく到達させる吸入テクニックが重要になります。私は、患者さんに自ら吸入指導をしますが、何度も繰り返すことにより上手に吸入できるようになります。外来受診の時に吸入が上手くいっているかどうかチェックをしてもらうと、病気の管理が上手にできるようになります。

咳だけが苦しい患者さんもいらっしゃいます。咳がでる場合には、レントゲン写真やCTにて肺に異常な陰影が確認できればその治療をすることができそうですが、何も異常がない場合、咳の原因がわからず治療が困難です。原因が不明の場合には、非常に軽い喘息で咳だけが症状の例が多く経験されます。その場合、喘息と同様に吸入ステロイド薬による治療により大幅に改善します。その他、食道への胃液逆流、鼻水の喉への流れ込み、高血圧の薬(ACE阻害薬)が原因の可能性もありますので、それに対応した治療を試みます。

その他、咳、痰、呼吸困難をきたす疾患の中に、たばこの吸い過ぎによって引き起こされるCOPDがあります。気管支が狭くなると同時に肺が壊れた状態(肺気腫)になり、運動時に呼吸がしづらく全身に酸素が回りにくくなります。この疾患も気管支拡張薬の吸入で呼吸が楽になりますので、是非、たばこをやめて治療を始めていただくことをお勧めします。

今回は、喘息には適切な治療薬を上手に吸入すれば大幅に改善すること、咳で苦しむ方も適切な治療で改善すること、喫煙者で呼吸の違和感を訴える方は、早急にたばこをやめて気管支拡張剤を使用すれば、改善すること、をお伝えしました。皆様が正確な医療情報を得られて健康で過ごされることをお祈りします。



◎第1回社会保険大牟田天領病院市民公開講座のご案内

社会保険大牟田天領病院では、市民の方々の健康にお役立て頂けるように最新医療の情報提供にも努めております。この度、その一環として公開講座を開催することとなりました。第1回目は、「肺」と「心臓」についてお話し致します。肺については、発症頻度の高いぜん息と肺癌の外科的治療、肺疾患の有害因子であるたばこの関係についてお話し致します。また、今回は特別講演として熊本大学医学部附属病院 循環器内科学教授 辻田賢一先生をお迎えし、「心臓疾患の最新医学」についてのお話も予定しております。また、専門による健康相談コーナーも開催します。(地域医療連携室 梅田真嗣)

日時：平成29年11月5日(日)

開場/13:30 開演/14:00~16:00

場所：大牟田文化会館 小ホール

大牟田市不知火2-10-2

電話0944-55-3131

費用：無料

定員：500名

申込：電話(0944-54-8482)、

FAX(0944-55-9886)、

ホームページ等でお申込みください。

もし、定員を超えた場合は

その旨ご連絡を致します。

●プログラム

第1部(講演 各15分)

①演題「ぜん息と肺癌の内科治療」

演者：社会保険大牟田天領病院 病院長 興梠博次

②演題「肺癌と外科治療」

演者：社会保険大牟田天領病院 呼吸器外科部長 丸山理一郎

③演題「たばこと健康」

演者：社会保険大牟田天領病院 呼吸器科部長 廣佐古 進

第2部(特別講演 45分)

演題「心臓疾患の最新医学(治療)」

演者：熊本大学医学部附属病院 循環器内科学教授 辻田賢一 先生

座長：社会保険大牟田天領病院 病院長 興梠博次

◎院内改革

(1)救急医療勉強会始まる!

「チーム天領 院内勉強会」の一環として、7月から「救急医療勉強会」を始めました。目的は医療技術の向上で、今回のテーマは「救急の初期対応力の向上」になります。毎週水曜に午前8時から約20分間の講義で、早朝で自由参加なのですが医師や看護師だけでなく多くの職員も参加しています。これまで、「急性腹症」、「頭部外傷」、「胸痛疾患」、「救急での骨折」の4つの分野について、担当医師による講義でした。

その次には、私が看護師の視点から「救急医療の重要点と今後の課題」と題した講義を行いました。講義資料を作りながら大牟田市の高齢化率の高さに改めて驚き、既に大牟田市は2025年問題から2035年問題に突入していること、介護をする人が不足すること、在宅医療や介護をどのように支えていくかという大きな課題を抱えていることを実感しました。H26年度の統計によれば、救急搬送の55.5%が高齢者であり、軽傷から重症まで様々ですが、治療優先だけではないひとり暮らしや判断力低下の認知症等を含む高齢化医療に、当院がどのように取り組んでいくのか大きな課題だと感じました。

当院の現状は、診療科や常勤医師に限りがあり救急医療については医師の負担が増加する傾向にあります。その分を看護師や技師等の力で支え、「チーム天領」として今後も当院の役割を見直しながら有明地区の救急医療に貢献できるように努力します。これからも院内勉強会を継続し、知識の向上と全職員の意識の統一化が図れる場になればと願っています。

(内科外来 救急看護認定看護師 田上清美)



(2)部署ランチミーティングの開催

4月からの興梠病院長就任に伴い、組織理解や共通認識等を目的として7月5日~8月10日の間に興梠病院長と部署の代表者が一緒にランチを取りながらミーティングを行いました。部署の代表とは、部署長だけでなく性別や年齢、キャリアから3~4名を選び、部署を集約するような人員構成でした。ランチミーティングの一般的効果としては、限られた時間での方向性の確認や仲間意識の向上とされますが、和気あいあいとした中にも部署の現状や取り組むべき課題が明確になる貴重な機会でした。

(地域医療連携室 山西一成)



◎健康教室のお知らせ・今後の予定

昨年度から、患者さんや地域住民を対象とした啓発活動として健康教室を開催しています。通常は、病気を患って病院に行くこととなりますが、健康教室は病気になる前の予防を目的としています。

7月13日(木)の健康教室は、「肩こり」がテーマでした。肩こりは国民病ともいわれ、女性の有訴者率は第一位、男性でも第二位を占めています。内容は、前半はリハビリテーション科医師による肩こりの原因とメカニズムについての説明、後半は理学療法士による肩こりの起因とされる筋のストレッチ体操等を行いました。今後も、高齢者の方に多い「尿漏れ」「筋力低下・転倒」や国民病とされる「腰痛」等をテーマに開催致します。ご希望の方は、地域医療連携室までお尋ねください。

今後の予定・平成29年12月14日(木) 失禁予防セミナー・平成30年3月8日(木) 腰痛症セミナー



◎総合案内の紹介 患者サポート推進委員会より

これまで、正面玄関に総合案内として月曜日~金曜日の午前中に看護師と事務職員が案内を行っていました。職員は、総合案内の腕章をつけていましたが、「わかりにくい」という声も頂いており、8月からは総合案内のカウンターを設け、一目でわかるようにしました。カウンターは移動式のため、場所については試行錯誤中であります。何かご不明な点がありましたら、お気軽に声をお掛けください。また、御意見もお待ちしています。(地域医療連携室 石橋理絵)



◎短時間リハビリテーションサービスのご案内 (電話0944-43-0139)

デイケアセンターでは、リハビリテーションに特化した短時間リハビリテーションサービスを始めました。これまで通所リハビリテーションといえば、食事や入浴等も含め4~6時間の滞在をしていますが、短時間リハビリテーションでは食事や入浴はなく、1~2時間の滞在でリハビリテーションを行うというものです。医療機関で行う外来リハビリテーションが一部の疾患等の方を除きできなくなりましたので、それに代わる介護保険のリハビリテーションになります。これまでの医療機関で行っていた外来リハビリテーションに近いイメージになり、午前は9:30~11:30、午後は14:00~16:00のどちらかになります。

また、リハビリテーションサービスの機能強化のために今年の5月より理学療法士を1名増員し、階段昇降訓練機器の導入も予定しております。介護認定を受けた方が対象となりますが、相談や見学は随時受け付けております。場所は、線路側の駐車場にある三階建ての茶色の建物になります。ご希望の方は、お気軽にご連絡ください。(デイケアセンター 平岡俊彦)



◎医療機関の皆様に 地域医療連携懇親会のご案内

地域医療連携の推進のために開催しております地域医療連携懇親会も、今回で9回目となりました。すでにご案内を差し上げておりますが、これまで有明地区の医療機関等から毎回200名程度のご参加を頂き誠に感謝申し上げます。今回は、ポスターセッションに加え「最近の呼吸器科のトピックス」等の講演も予定しております。多数の方々のご出席を心よりお待ちしております。(地域医療連携室 梅田真嗣)

日時：平成29年10月25日(水)19時~21時頃 場所：ホテルニューガイア オームタガーデン



◎一万人総踊りに参加

7月22日(土)、「大牟田大蛇山まつり」の一万人総踊りに興梠病院長をはじめ約80名の職員が参加しました。今年は大牟田市制100周年ということで、大牟田市育ちでラジオやテレビでお馴染みの中島浩二さんをゲストに迎え、1万人で「炭坑節」と「大蛇山ばやし」を踊りました。一度きりの練習で、残念ながら踊りの品格を競う「優秀賞」を逃してしまいましたが、職員一丸となり楽しい時を共有することができました。次回こそは、「優秀賞」に選んでもらえるように練習を重ねると共に、引き続き「大牟田大蛇山まつり」を盛り上げていきたいと思っております。(地域医療連携室 三小田久一)

